

交運労協 FAX ニュースNO. 2

港区芝浦3-2-22 田町交通ビル 3階 発行日 2011年10月14日

TEL:03-3769-6571 FAX:03-3769-6570

発行人 交運労協 関 政治

交運労協URL <http://www.koun-itf.jp>

ITF本部パティ・クラムリン会長、デビッド・コックロフト

書記長が被災地を訪問！

被災地の一日も早い復旧・復興に向けて、全力を挙

げる決意を述べる！

10月6日に開催された第27回交運労協定期総会の翌日の10月7日から8日にかけて、東日本大震災で被災した宮城県、福島県を訪問した。ITF本部からは、パティ・クラムリン会長、デビッド・コックロフト書記長、交運労協からは渡辺議長、武井副議長、山本副議長、木本副議長をはじめ事務局4名、ITF東京事務所からは飯嶋所長、田口職員、東北交運労協からは氏家議長、菅原事務局長の合計14名が参加した。

初日は、13時前に仙台駅に到着後、一行は宮城交通のバスに乗車し、車内では東北交運労協の菅原事務局長より被災状況等の説明を受けながら、一路松島に向かい、石巻、女川の順で視察を行った。女川では、女川港近くで犠牲者の冥福を祈るとともに、献花と黙とうを行った。

10月8日は、全港湾の伊藤委員長をはじめ、組合役員の方々の案内により仙台塩釜港を視察するとともに、震災当日の状況等について説明を受けた。全港湾では4名の組合員が津波等

で尊い命が犠牲になったことから、献花と参加者全員による黙とうで犠牲者の



冥福を祈った。その後、仙台空港を視察し、山本副議長から被害状況等の説明を受けた。そして、バスは仙台東部道路、国道6号線を南下しながら、相馬港を視察し、一路福島駅へと向かった。

一行は福島市内で昼食を摂り、パディ・クラムリン会長、デビッド・コックロフト書記長から挨拶を受け、一路東京に向かい、到着後解散した。



【パディ・クラムリン会長、デビッド・コックロフト書記長（挨拶要旨）】

東日本大震災で犠牲になった組合員をはじめ、犠牲になられた方々に哀悼の意を表す。被災地を視察し、あらためて地震と津波の恐ろしさというものを実感した。

I T F 本部は、交通・運輸部門の再生と一日も早い復旧・復興に向けて全力を挙げて応援していきたい。

被災地で見たことは必ず I T F 本部に持ち帰り、執行委員で報告する。

お忙しい中、交運労協や I T F 東京事務所に被災地を案内していただいたことに感謝を申し上げ、お礼の挨拶とする。

以上